

会 議 録		令和6年9月26日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府西京警察署協議会（令和6年度第2回）		
開催日	令和6年9月24日（火曜日）		
時 間	午後2時30分から午後4時40分までの間（130分）		
場 所	1 京都府西京警察署 講堂・署庭 2 国際日本文化研究センター		
出席者	澤井会長、大石副会長、辻委員、中路委員、樋口委員、石若委員、小原委員、柳田委員、野原委員、佐藤委員、宮本委員、谷委員 (欠席 中川委員) 計12人		
	署長、副署長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、会計課長、広聴相談係長 計10人		
諮 問 事 項	危機管理対策について		
会 議 内 容	1 西京警察署及び国際日本文化研究センターでの機能移転訓練視察 2 京都府西京警察署協議会 (1) 委員自己紹介（佐藤委員） 司会 警務課長 (2) 会長挨拶 (3) 署長挨拶 (4) 協議 司会 会長 ア 諮問事項説明 危機管理対策について～警備課長 【委員】 臨時窓口が設けられ、実際には机の前面に担当窓口を表示するとのことだが、多数の来場者が予想されることから、上方に表示した方が良いのではないか。 【委員】 災害などが発生し、私の自宅近くの松尾橋、上野橋に大量の車両が流れてくると思うが、どのような対処をされるのかが気になった。 【警察】 橋の倒壊状況にもよるが、河川事務所、橋を管轄する右京署からの情報等を踏まえて判断することとなる。 通行することにより生命に危険が及ぶ可能性がある判断すれば、通行止めにすることもあり得る。松尾橋の直近には松尾交番があるため、交番員からの報告により必要な対策を講じるとともに、住民の方に対していかに迅速		

会 議
内 容

に被害状況等を広報していくかを検討していく必要があると感じている。

【委員】災害があった場合、こちらに移転するというのも住民に周知できないのではないか。

【警察】西京警察署の前には移転している旨の案内は表示する予定である。

【委員】訓練を見せていただいて、非常に実践的でリアルな想定に基づいて訓練に臨まれていると感じた。

我々区役所も防災訓練を実施しており、今回の能登半島の災害に対しても職員を派遣した。災害対策においては経験を生かしたリアルな訓練が大事だと感じている。

今回を見せていただいた内容は、区役所の防災訓練でも生かしていきたいと思う。

【警察】大規模な災害が発生した場合は、情報の共有と、区役所の庁舎の上層階から視認確認等をお願いしたいと考えている。。

【委員】このような訓練はどれくらいの頻度で行われているのか。

【警察】年に1回である。

【委員】区役所の庁舎等、高い場所から被害状況を把握するという話があったが、当然確認できない場所もあると思う。

住民側から情報提供をした方が良いのか。

【警察】実際に災害が発生すれば、おそらく110番通報だけでなく西京署の電話回線はパンクすると考えられるものの、情報提供だけでなく必要な通報はしてもらえば良い。

【委員】ものすごくきびきびとした統率の取れた訓練を見せていただき感心した。

最近、地震や水害が多く発生しており、また、いつ発生するか分からない状況である。常に色々なことを想定した訓練を行っていくことが大事だと感じた。

【委員】弊社でも、最近の色々な犯罪等に対応するための訓練を実践しており、想定を置かない突発的な訓練を実施しているようにしている。

今回の訓練は想定ありきの訓練だと思ったが、シナリオに沿った訓練という認識で良いのか。

【警察】今回の機能移転訓練については、実施日時、想定等を明らかにして行っているが、実際に訓練することで、万が一、大災害等が発生した場合に足りないところがないかなどを検討することに主眼を置いている。

例えば、誘拐事件を想定した訓練などの場合は、訓練予定を告知せずいきなり担当者が交番を訪問して、対応できるかどうかを確認する場合もある。

警察が取り扱う事案は多岐にわたるため、一定の訓練を行い練度が高まればブラインド訓練という言い方をしているが、訓練の告知をせずに行うなど、どのようにすれば効果が上がるか検証をしながら各種訓練を行っている。

今回の機能移転訓練については、慣れていく必要があるという観点から、あらかじめ日時、想定等を設定して行っている。

【委員】弊社も各地で地震が発生している現状等については危機感を持っており、

会 議
内 容

駅に配置される要員もだんだん減ってきていることから、少ない人数で各種事案にどのように対応するかという課題に向き合っている。

消防と協議を行っているが、警察とも協議を進めていきたいと考えている。

【委員】当校も生徒の安全を確保するという意味で、色々な対策を見直す機会ではないかと感じている。

【委員】社会福祉協議会では、西京区で災害が発生した場合、京都市西文化会館ウエスティ又はホテル京都エミナースに災害ボランティアセンターを設置することになる。

訓練を見せていただき、非常にスムーズに行っておられると感じた。

当会においても実際に災害が発生した場合、スムーズに対応できるよう先方と綿密な協議を行う必要があると感じた。

【委員】今回、西京警察署が国際日本文化研究センターと協定を結んでおられるということを知ったが、このようなことは地元住民に知らせない方が良いのか。

【警察】万が一、移転する必要がある場合は、警察からも移転することを広報するので、現時点で地元の方に知らせていただいても何ら問題はない。

【委員】機能移転先としてすばらしい場所を選定され、関心しているところであるが、恒久的にこの場所を活用していく予定か。

【警察】その予定であるが、こちらも被災する可能性は否定できないので、第2、第3の場所を選定しておくことが今後の課題となる。

【委員】今日は貴重な体験をさせていただいた。

署員の方がきびきびと動いておられる姿を見て、日頃からの訓練の重要性をすごく感じた。

警察の方も一生懸命訓練に取り組んでおられたので、我が家でも訓練などしておいた方が良くないと痛感した。

イ その他

【委員】一旦停止の「止まれ」の標識がある交差点で、道路にも「止まれ」の表示があるところと無いところがあるが、何か理由はあるのか。

【警察】一旦停止の規制に関しては、標識と停止線があれば有効であるので道路に「止まれ」の表示があってもなくても効力は同じである。

「止まれ」の表示を設置してほしい場所があれば、道路管理者に情報提供させていただく。

【委員】日常生活で感じていることだが、若いお母さん世代の方が一旦停止をしない、電動アシスト自転車のためかスピードの出し過ぎや逆走等、自転車のマナーの悪さが目につくので取締りをお願いしたい。

【警察】若いお母さん方の自転車マナーについての御指摘があった。小学校や高校等に行かせていただき、自転車の交通安全教育を実施しているが、一般の方を対象とした教室というのは実施できていない。

地域でそのような世代の方が出席されるような会合について、お声掛けをしていただければ警察官を派遣し、交通安全教育等を実施していきたい。

また、いわゆる主婦層が多く集まるであろうスーパー等において自転車の

会議 内容	<p>安全指導、ヘルメット着用の広報啓発活動を実施することを検討している。</p> <p>【委員】朝の通学児童の見守り活動をしているが、今後も警察官の方にはできるだけ姿を見せていただきたい。</p> <p>【警察】事案があればどうしてもそちらが優先となるが、できる限り通学路の安全対策には対応していきたい。</p> <p>3 事務連絡</p> <p>令和6年度第3回西京警察署協議会は、令和6年12月上旬に実施予定である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----------	--

機能移転訓練視察状況



第2回京都府西京警察署協議会の開催状況

